

学校だより

令和7年3月26日(水) 特別号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>

感謝

校長 細井博幸

先週19日(水)は、季節外れの雪。辺りは一面の雪景色となりましたが、午後には晴れ間が差し、みるみる校庭や道路の雪は消え去っていき、冬と春を一日で感じる日となりました。2年前、新任校長として赴任した際に、これまでお世話になった方々からいただいた胡蝶蘭は、春の訪れを感じ、三度目の花を咲かせました。胡蝶蘭は、「幸せが飛んでくる」「発展」といった花言葉をもち、大変縁起の良い花とされています。常に大切な方々からの胡蝶蘭に背中を見守られながら、校長としての2年目が終わろうとしています。



校長室の胡蝶蘭 3度目の開花

14日(金)には、第41回卒業証書授与式が行われ、昨年に引き続き、全校生徒、そして多くの来賓、保護者の皆様に見守られながら卒業生の旅立ちを祝いました。卒業生一人ひとりの表情からは、義務教育9年間をやり遂げたという大きな満足感と新しい世界に旅立つのだという力強い決意を感じることができました。また、在校生の姿からは卒業生へのこれまでの感謝の気持ちと、これから西原中学校を担っていくという責任感が姿勢に表れており、校長として喜びと誇りを感じることができました。私からは式辞として、旧千円札の肖像画である野口英世に関する言葉「忍耐は苦い。しかしその実は甘い。」「天才はいない。努力が大事だ。」「人生で変えることができるのは、自分と未来だけ。」の3つの言葉を贈りました。約20年間、千円札として見続けてきた野口英世が、日に日に新紙幣の北里柴三郎に変わってきている今、改めて野口英世の人生を振り返り、これからの人生に生かして欲しいとの思いを込めさせていただきました。卒業生の皆さんの健康と益々の活躍をお祈り申し上げます。

次に、1月に実施いたしましたさいたま市学習状況調査の結果が先日返却されました。本校は、学力に関する調査(国語、数学、社会、理科)において、例年市平均を下回る結果であることが多いのですが、本年度の結果は、2年生がほぼ市平均、そして1年生は全ての教科で市平均を上回る素晴らしい結果を得ることができました。特に2年生につきましては、1年前の1年生の時の結果と同集団での比較をしてみますと、数学、社会が大幅に向上する結果となりました。本校教職員の日頃からの熱心な取組、それに応えてくれた生徒、支えてくださった保護者の皆様のおかげと感じております。ありがとうございます。しかし、結果を分析することで見えてきた課題もあります。次年度は基礎学力向上タイムを火曜日の朝に設定し、新聞ワークシート及びスタディサプリを活用してまいります。市全体の結果及び保護者向けの解説資料等につきましては、右のQRコードからご覧いただけます。



最後に、令和7年度の学校だよりも今号で最後となります。昨年度同様、年度最後の学校だよりのタイトルを「感謝」といたしました。校長として時を重ねるに連れ、保護者の皆様、地域の皆様、そして子どもたち、教職員への感謝の気持ちは、高まり続けています。この一年間の本校の学校教育活動に対する御理解と多大なる御支援に感謝申し上げますとともに、次年度も、この西原小・中学区の地域、保護者の皆様からより一層期待していただける学校経営を目指し、精進してまいります。引き続き変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。